

伊 豆 鳥 島

○概況（平成 14 年 8 月）

12 日から 14 日に、噴火が確認されました。11 日、海上保安庁による航空機からの観測で、白色噴煙が硫黄山山頂付近から上がっているのが確認され、翌 12 日に、気象庁職員による上空からの火口観測※で噴火を確認しました。情報の発表状況については下表を参照ください。

伊豆鳥島で噴火が確認されたのは、昭和 14 年（1939 年）以来となります。

※海上保安庁の協力による

【情報の発表状況】

火山名	火山情報名	発表日時	概要
伊豆鳥島	火山観測情報第 1 号 火山観測情報第 2 号	11 日 22:30 12 日 17:15	噴煙確認 噴火確認、火口観測結果

○噴煙活動の状況

8 月 12 日、海上保安庁の協力により、航空機による上空からの目視およびカメラによる観測を行いました。火山灰混じりの噴煙が、火口上 600m の高さまで上がり、西方向へ数十 km 程度まで流れていました。その後、8 月 13 日および 14 日に行われた、海上保安庁による上空からの観測では噴煙が確認されていましたが、21 日の観測では、噴煙は確認されませんでした（図 1～2）。



図 1 南東の上空から撮影した伊豆鳥島。噴煙は西～北西方向へ流れる。
（8 月 12 日 12 時頃、海上保安庁の航空機より撮影）



図2 硫黄山山頂火口の様子。21日は噴煙は確認されなかった。
(8月21日、海上保安庁 撮影)

○山頂火口の状況

12日の観測では、硫黄山山頂火口の南西火口壁より火山灰混じりの灰白色の噴煙が、また南から南東にかけての側壁からは、白色の噴煙が確認されました（図3）。

火口内には、水が溜まっていました。また、山頂付近から北北西側の3～4合目付近までにかけて降灰が見られました。



図3 山頂火口上空の様子。降灰が確認される。
(8月12日12時頃、海上保安庁の航空機より撮影)

○地震活動および地殻変動の状況

伊豆島島内には地震計やGPS等の観測機器は設置していません。